

「北海道・北東北の縄文遺跡群」
世界遺産登録推進フォーラム

世界遺産と 地域の活性化



入江・高砂貝塚(洞爺湖町)



大船遺跡(函館市)



中空土偶
(カクウ)

考古学の専門家のお話と地元の地域資源を活かして活動している皆さんなど多様な方たちのパネルディスカッションを通して、世界遺産登録をめざしている「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値について考えます。

とき 平成28年11月20日(日) 13:30~16:00

ところ 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場
(〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目 TEL:0166-69-2000)

※道内唯一の国宝「中空土偶(複製)」と縄文パネルの展示も行います。

基調講演

「縄文遺跡群の世界遺産登録へ向けて —地域と文化財の視点から—」

札幌国際大学縄文世界遺産研究室室長 **越田 賢一郎氏**

パネルディスカッション

パネリスト 三浦綾子記念文学館 副館長 **斉藤 傑氏**

NPO法人もりねっと北海道 代表 **山本 牧氏**

(株)シービーーツアーズ 代表取締役社長 **戎谷 侑男氏**

コーディネーター 北海道環境生活部縄文世界遺産推進室 特別研究員 **阿部 千春**



北黄金貝塚(伊達市)



鷺ノ木遺跡(森町)



垣ノ島遺跡(函館市)



キウス周堤墓群(千歳市)



三内丸山遺跡(青森県)

入場無料

※お申し込みは不要です。
直接会場へお越しください。



JOMON JAPAN

「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産登録推進フォーラム (道民カレッジ連携講座)

とき 平成28年11月20日(日) 13:30~16:00

ところ 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場 (〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目 TEL:0166-69-2000)

基調講演

13:45~14:45

「縄文遺跡群の世界遺産登録へ向けて —地域と文化財の視点から—」

札幌国際大学縄文世界遺産研究室室長 **越田 賢一郎 氏**

《プロフィール》

1948年千葉県生まれ。1972年立教大学大学院史学科修士課程卒業後、札幌にて北海道埋蔵文化財センターに長年勤務する。退職後、北海道埋蔵文化財センター調査部長(2007-2010年)、札幌国際大学教授(2010-2016年)を経て、現在札幌国際大学縄文世界遺産研究室室長、公益財団法人北海道埋蔵文化財センター理事長、北方考古学研究所長

《研究分野》

考古学：中近世、アイヌ文化期 鉄鍋、ガラス玉を研究 東洋史：東北アジア史

《主な著書》

- 2001 「北海道の内耳鉄鍋をめぐる」財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 『平成12年度普及啓発セミナー報告集』財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構
2003 「北方社会の物質文化：鉄からみた北海道島の歴史」菊池勇夫編 『日本の時代史19：蝦夷島と北方世界』吉川弘文館
2004 「鉄鍋再考」『宇田川洋先生華甲記念論文集』457-492,常呂
2004 「鉄鍋・陶磁器・ガラス玉の語るもの」『新北海道の古代3：擦文・アイヌ文化』北海道新聞社
2010 「流鬼—7世紀の東北アジア—」『加藤晋平先生喜寿記念論文集 物質文化史学論聚』北海道出版企画センター
2011 共著『北海道の歴史(上)』北海道新聞社
2015 共著『北海道の古代・中世がわかる本』亜璃西社



パネルディスカッション

15:00~16:00

考古学の専門家や森と人をつなぐ市民団体の目線に加えて、観光振興の視点から世界遺産登録が地域に与える影響についてディスカッションする。

パネリスト

三浦綾子記念文学館 副館長 **斉藤 傑 氏**
NPO法人もりねっと北海道 代表 **山本 牧 氏**
(株)シービーツアーズ 代表取締役社長 **戎谷 侑男 氏**

コーディネーター

北海道環境生活部縄文世界遺産推進室 特別研究員 **阿部 千春**

- 主催：縄文遺跡群世界遺産登録推進本部、北海道
- 共催：北の縄文道民会議、北海道縄文のまち連絡会、札幌国際大学縄文世界遺産研究室
- 後援：旭川市教育委員会
- お問合せ：北海道環境生活部文化・スポーツ局文化振興課縄文世界遺産推進室
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL : (011)204-5168 FAX : (011)232-8695